



議会だより

No. 62 2020年5月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実
編 集：議会広報編集特別委員会



一般質問録画映像の配信をしています！

南魚沼市議会 録画配信

検索

上田小学校開校式・入学式

令和2年第1回臨時会の概要／議決結果	2ページ
令和元年度一般会計補正予算審議／その他議案審議	3ページ
令和2年度一般会計当初予算審議	4～5ページ
令和2年度一般会計予算討論	6ページ
令和2年度特別・企業会計予算審議、陳情審査	7ページ
3月定例会議決結果	8～9ページ
一般質問 17名が市政をたず	10～18ページ
各常任委員会報告	19ページ
6月定例会の予定	20ページ

令和2年
第1回臨時会
の概要

2月10日に臨時会が開かれ、
一般会計の補正予算の審議が行われました。

令和元年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号）

債務負担行為補正として5,000万円

異常少雪対策として、令和2年度に実施する計画だった個人住宅
リフォーム事業を前倒しして事業執行できるように計上しました。

質
疑
応
答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

Q なぜ通常の補正ではなく、債務負担行為という選択をしたのか。

A 今回は債務負担行為によって、令和2年度の当初予算で計上する5,000万円を生かしながらかつ早く交付決定や事業着手ができるということで、通常の補正と効果的にはほぼ同じものが得られるのではないかと判断をした。

Q 対象工事を50万円以上ではなく、もっと少額にしたほうが経済効果があるのではないか。

A 過去に行ったリフォーム事業は約7割が50万円程度であったため、令和2年度も50万円以上の工事を対象とすることにしました。

Q スケジュールを見ると、最短交付決定日が4月20日である。せっかくスピーディーにやろうという方針がここで途絶えてしまうのではないか。

A 交付決定日前でも、交付決定前事業着手届を提出いただければ、着手は可能である。

Q 住宅リフォーム事業を5年間の事業として計画する考えはないか。

A 全体計画をつくって事業を長く続けたいと考えているが、国・県からの補助金がなく、単独費でやっていかなければならない。ふるさと納税が今の制度のまま、このペースで寄附していただければ、であれば継続できるが、それが見通せない中では、単年度ずつ状況を見ながらやっていくしかない。

令和2年第1回臨時会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第1号報告	専決処分した事件の承認について（令和元年度南魚沼市一般会計補正予算（第7号））	承認（全会一致）
第2号報告	専決処分した事件の承認について（自動車損害事故に係る損害賠償の額を定め和解することについて）	承認（全会一致）
第1号議案	令和元年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号）	可決（全会一致）

3月定例会 の概要

本会議は3月2日～3日、9日～13日、16日～17日、19日の10日間、常任委員会は3月4日～6日に開かれました。議決結果は8～9ページをご覧ください。

令和元年度南魚沼市一般会計補正予算（第9号）

13億4,901万1,000円を追加

予算総額327億5,778万2,000円に

令和元年度
一般会計補正予算

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

歳入

○固定資産税

3,328万6,000円増

Q 滞納繰越金が当初予算から大きく増加した理由は。

A 今年度は1,000万円位が1件など大口が多かった。毎年ばらつきが大きく、滞納分の当初予算については予測が難しい。

歳出

○農業振興対策補助事業費

1,792万2,000円減

Q 経営体育成支援事業補助金の未実施、青年就農支援事業補助金の対象者が減少になった要因は。

A P R不足や補助事業の条件が実態に合致していないのか、今後、検証する。

○小学校大規模改造事業費

4,750万円

Q 今回は大崎小学校のトイレを洋式に改造したが、今後、各学校のトイレの洋式化は進めていくのか。

A 早期のトイレ洋式化に向けて、スピード感を持って進めていく。

その他議案審議

Q & Aは一部のみを掲載しています。

第15号議案

南魚沼市中越大震災地域復興支援基金条例の制定について

Q J R 浦佐駅の観光案内所の運営は、今後も続けていくものと思うが、4年で基金の利用は終了する。その後は市の単費で運営するものと思うが、魚沼市との案分は考えているのか。

A 令和元年度は立ち上げの時期で、当市が代表市町村として申請したが、令和2年度以降は魚沼市と運営経費を分けて行う。

◆全会一致で可決

第16号議案

南魚沼市行政区条例の制定について

Q 行政区長が非常勤特別職でなくなっても業務内容が変わることはないとのことであるが、守秘義務等において法的位置付けは変わるのではないか。

A 行政区長が非常勤特別職でなくなるといふことは、公務員でなくなるといふことで、守秘義務は少なくなるが、この条例の中で改めて守秘義務を課すことになる。

◆全会一致で可決

令和2年度 一般会計当初予算

302億3,000万円(昨年度比0.6%減に)

(詳細は市報5月1日号をご覧ください)

令和2年度
一般会計当初予算

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

歳入

Q 異常少雪に続いて新型コロナウイルス感染症対策で景気の先行きが懸念される。税収の確保ができるか心配だが。

A 前年度所得で課税しない訳にはいかないが、今年の所得が急激に減った場合、国民健康保険税等は減免措置もあるので、相談してもらいたい。

Q 園芸生産促進事業県補助金の補助対象の内容は。

A 要望があつて申請したもので、溶液土工でトマトを作っている方の鉄骨のビニールハウスである。

Q ふるさと納税を増やすために、他の自治体でなぜ増えたのか研究していく必要があるのでは。

A 来年度からウェブサイトをもう1箇所増やす。米以外の返礼品も増えている。また物以外の返礼品も増やしていきたい。

Q 中学生海外派遣事業参加負担金が減っているが、派遣する生徒が減るのか。

A 負担金をもらう生徒が10人で、ほかに2人を予定していて、前年度より8人減る。

歳出

1款 議会費

Q 事務局の増員を要望したと思うが、増えていないがなぜか。

A 正職員をあてることは出来ないが、4月から臨時職員1名が入る予定である。

2款 総務費

Q 庁舎管理費の電気料が400万円減額になっている理由は。

A 電力自由化により、昨年6月から新しい電力会社との契約により安くなった。

Q 移住定住促進事業費に係る来年度の目標は。

A 移住者100人、お試し居住50人が目標である。

Q 雪資源活用事業で、雪の魅力発信業務委託の具体的な内容は。

A さいたま市での、サッカーとバスケットボール会場でのスノーパックの配布、江戸川区での機運醸成イベントへの参加、都と全国積雪寒冷地帯振興協議会の合同イベントである。

3款 民生費

Q 生活保護扶助費について、少雪や新型コロナウイルス感染症で需要増が見込めるが、対応していけるのか。

A 当初予算は新型コロナウイルス感染症を想定していない。少雪での相談も来ていく。必要な方に支援が届くようにしていく。

Q 生活困窮者支援について、相談増が予想されているが、どのような対応を考えているか。

A 社会福祉協議会に業務委託しているが、正職員を増員して対応をしている。

Q 紙おむつ給付費が減額になっている。今年は経済状況が厳しいと思われるが、柔軟な対応をする考えはあるか。

A 対象者の判定は、前年度の所得が反映するので当年度厳しくなった場合は使えない。今後検討したい。

4款 衛生費

Q 骨髄等移植ドナー支援事業助成金が新設されたが、具体的な内容は。

A ドナーは1人を予定しており、1日2万円が7日分である。

Q 広域ごみ処理施設建設事業の先進地視察について具体的な進め方は。

A 先進地視察先は具体的には決まっていない。市政懇談会で市民の皆さん

んに周知していきたい。

Q 可燃ごみ処理施設整備事業費の施設修繕工事で、吸塵装置と減温装置の取り替えとの説明だが、この修繕によって何年延命できるのか。

A 正確な時期は言えないが、最後の火が止まるまで、安全に稼働できるよう対応していく。

Q 生ごみの減量化に有効な電気式生ごみ処理機購入補助金が、今年度すでに予算をオーバーしているが、追加は可能か。

A 予算はギリギリのところまで組んでいる。この補助事業は予算をオーバーしても対応していく。

6款 農林水産業費

Q 有害鳥獣被害について、今年心配しているのは、猪の出現である。昨年は玉ねぎが被害に遭っている。田んぼに入ると大変なことになるが、今後どのように取り組んでいくのか。

A 田んぼに入ると大変な被害になることは、承知している。情報を早目に取り対策していく。

Q 米離れが進む中で、この南魚沼で何を作ったらよいか、5年先10年先を考えた研究が必要ではないか。

A 米以外の園芸では、しいたけ、スイカが好調である。昔と比較し、園芸に取り組む農業者が増えてきている。県、JAと連携しながら取り組

んでいく。

Q 県営事業負担金について、2,000万円の大減額した理由は。

A 国の予算方針に対応して8,000万円となった。農政は国の方針で当初予算は少なく、補正で付くようになってきている。国の補正が付いた時、市の予算化が可能であれば考

7款 商工費

Q 「兼続公祭り」は南魚沼市として、塩沢、大和と一緒に取り組める祭りと思うが。

A 市全体の祭りとして、祝いができるかと考えている。盛り上げる視点で検討して行く。

Q 山岳遭難対策事業で、日頃より山岳ボランティアに常備ヘルメットの要望の声があるが、現在どのようになっているか。

A 50人分を消耗品費に予算化してある。

Q 八海山麓観光施設管理について、今後どう方向付けするのか。

A 市のアクションプランでは、将来的にどういう形が良いのか検討することになっている。地域を守るために大いに議論を進めていく。

Q 雪資源の活用について、産業振興部としてはどう取り組むのか。

A 雪の活用事業は、市の大きな事

業であり、いろいろ問い合わせをいただいている。地元の企業を通して活用を進めていきたい

8款 土木費

Q 市営住宅総合事業について、長寿命計画改定業務はどのような方向性になるのか。

A 平成29年度の公共施設等総合管理計画に基づく個別計画を作成する。基本的考えは施設の維持管理、除却も含めて見直しを行う。

Q 市道の降雪検知機は全て最新のものに交換済みか。随時交換するのか。

A 井戸の改修時に随時交換している。

Q 銭淵公園整備事業について、7,200万円という大きい予算であるが、なぜ予算がついたか。優先度はどうか。

A 2年かけて検討してきた。市の目玉の公園であり、多目的トイレ、駐車場の不足、及びアンケート調査等が優先事業となった。

9款 消防費

Q 感染症対策用の防護服は万全な体制か。

A 消防本部として、特殊防護服4,000枚含め十分対応できる保有枚数を備えている。

Q 県の消防大会の式典を大原運動公園で行う計画だが、車の移動で芝生

は大丈夫か。

A 野球場でやるが、設営業者と調整を行い、板を敷いて芝生を守る対策をしている。

Q 防災ラジオ1,000台まで1,000円負担となっているが、1,000台オーバーした場合は、どうなるか。

A 負担でなく1,000円補助で買っていた方法である。青天井ではないが、オーバー分は、何とか予算対応したい。

Q 避難所の停電対策はどのように行われているのか。

A 指定避難所は53か所あるが、独自の対策が取れているところは少ない。発電機の備えでの対応が現実的である。

10款 教育費

Q 図書購入費は毎年同額であるが、留意点はどうか。

A 当初18万冊を見込んでいたが、今は19万冊ほどになっている。今後、傷んだ図書の補充新刊の購入等、様々な人の意見を聞いていきたい。

Q 英語教育に力を入れる中で、外国人の先生は効果があると聞いている。増員はどのように考えるか。

A 国際化を考える教育課程のポイントとして考えている。ALTを1名増員し、今後力を入れていきたい。

令和2年度
南魚沼市一般会計予算
に対する討論



原案反対

(日本共産党
議員団)

消費税増税、暖冬、新型コロナウイルスでトリプルパンチだ。市民の暮らしをどう守るかが問われる。

一般会計は、基金繰入12億円で編成し、起債残高356億円にのぼる。公債費47億円は荷物となっている。

雪資源活用事業は、オリンピック開催が危うい。移住・定住事業は、至れり尽くせりの補助だ。新ごみ施設建設は大学用地内を断念した。二酸化炭素ゼロ、減量化を市民の協力で進める。八海山麓スキー場のリフトが老朽化し、健全整備での委託が必要だ。「医療のまちづくり検討委員会」は、現場のスタッフに参加していない。したがって予算案に反対する。

原案賛成

(南魚みらいクラブ)

妊婦健診は引き続き公費助成を行い、不妊・不育症に対する医療費助成制度を継続していき、乳幼児健診を充実させて子育てにおける切れ目のない支援を推進していくことである。

また、自転車による観光振興、住民の健康の増進、交通問題の緩和及び環境への負荷の低減等により、公共の利益を増進し、地域の活性化につなげることを目的とする、「ライドオン南魚沼プロジェクト事業」の拡充など、多岐にわたる効果が期待できる事業への取組みに力を入れ、元氣あふれる南魚沼をアピールしていく姿勢が見て取れる。

今後も、発展的で持続可能な取り組みを期待し、賛成討論とする。

原案賛成

(歩む会)

反対者の言う、歳入を減らして歳出を増やすべしとの意味が分からない。単なる反対ではなく、修正案を提出して、どの部分について反対なのかを議論するべきではないか。大変きびしい財政状況で練り上げた予算ではあるが、ハード面においてはムダを省くなど、見直すべきところもあると思う。

異常少雪対策に加え、新型コロナウイルス対策において、今後、市としても財政出動の対応もあり得るのではないか。今の現状を考えれば、全員一致で賛成するべきだと思う。

原案賛成

(未来創政会)

異常少雪、新型コロナウイルスの影響で大変な緊急事態である。一日も早く生活現場を前進させなければならぬ。前年度比0.6%減という予算は、苦渋の判断で編成したのではないかと。徹底した経費の削減に取り組むと同時に、集中と選択の重さを痛切に感じる。

企業版ふるさと納税の取り組みで自主財源の確保にも期待する。限られた中で地域医療推進の対策も講じている。市民の安全を守る具体策とスピード感到に期待し、賛成討論とする。

原案賛成

(市民クラブ)

合併以来初めて市税が70億円を切り、資金繰りが大変苦しい中、選択と集中、簡素で効率的な市政運営が至上命題となっている一般会計予算であるが、多額の資金をつぎ込む銭淵公園改修費や大巻小学校解体費には、次につながる要素が見えない。移住定住策も5年が経過するが成果が見えない。雪資源利活用も事業開始以来、一貫して地元への集客につながらないと指摘してきた。

しかし、子供医療費助成や産後ケアの新規事業、健康ポイント、2市1町で一般廃棄物処理に協働で取り組む姿勢は評価する。多くの課題を残しているが、慎重の上に慎重をかさね、指摘した部分を肝に銘じて予算執行にあたることを期待して賛成とする。

社会厚生委員会

審査報告(抜粋)

(令和2年3月4日)

Q&Aは一部のみを掲載しています。

◆第8号議案「令和2年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算」

Q 国からの交付金を得るため、データヘルス計画にもっと力を入れるべきではないか。

A 特定健診は受診勧奨に努めているが、受診率がなかなか上がらない。令和2年度から健康ポイント事業を行うことによって加算されると判断している。

◆全会一致で可決

◆第9号議案「令和2年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算」

Q 新保険料率への改定について、被保険者にはどのように通知するのか。

A まず、市報などを通じて周知を行う。新しく被保険者になる方にもチラシを同封する。また、8月に保険証が一齐に切り替わるタイミングにも案内を添えて周知を図っていくなど、複数回、周知を行う。

◆全会一致で可決

◆第10号議案「令和2年度南魚沼市介護保険特別会計予算」

Q 低所得者保険料軽減繰入金が令和元年度よりかなり増額になっている理由は。

A 消費税が上がる前は第1段階のみ軽減していたが、昨年3月に法律が改正され、第3段階まで枠が拡大された。令和元年度も6月定例会で条例改正の専決処分を報告し、補正で保険料の減額と交付金の増額を行った。

◆全会一致で可決

◆第11号議案「令和2年度南魚沼市城内診療所特別会計予算」

Q このまま一般会計から4,700万円繰り入れていくのは無理があると思う。新年度あたりを目途に方向性を出すべきだと思うが。

A 公立直営の南魚沼市民病院、ゆきぐに大和病院、城内診療所についてはトータルで今後のあり方を検討していく必要があるだろう。「医療のまちづくり検討委員会」で十分な審議をし、方向性を見出すように努めていきたい。

◆全会一致で可決

◆第13号議案「令和2年度南魚沼市病院事業会計予算」

Q 訪問看護療養費について、機能強化型の導入により収益は上がるのか。

A 現在の患者数が変わらなければ収入は上がっていく。

◆全会一致で可決

産業建設委員会

審査報告(抜粋)

(令和2年3月5日)

Q&Aは一部のみを掲載しています。

◆第12号議案「令和2年度南魚沼市水道事業会計予算」

Q 浄水施設を二系列運転から一系列運転に変更した場合に、人員の変化はあるのか。

A 人員の削減は考えていない。修繕費等を抑えることが目的である。

Q 非常用水源の井戸は、現時点でも緊急時の給水は可能か。

A 給水は可能である。台風19号の際にも非常用水源の井戸で補水をしてしのいだ。

Q 修繕費を削減、先送りをするという説明だが、事故の対応は大丈夫か。

A 修繕の中で優先順位をつけ、計画的にやっていきたい。突発事故の際には対応する。

◆賛成多数で可決

◆第14号議案「令和2年度南魚沼市下水道事業会計予算」

Q 会計年度任用職員の職務内容はどのようになっているか。

A 臨時職員はこれまで補助的な業務だったが、もう少しレベルを上げた業務内容を検討中である。

Q 接続の促進業務委託の具体的な内容は。

A 接続推進委員が未接続の世帯にお願いに上がる。未接続の事業所についても取り組んでいきたい。

Q 企業部として、障がい者雇用を検討しているか。

A 身体障がい者の場合は現場作業が難しく、苦慮している現状である。

◆賛成多数で可決

◆陳情第1号「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

◆賛成少数で不採択

議案番号	市長提出議案	議決結果
第41号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字川窪財産区）	同意（全会一致）
第42号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字四十日・北田中・宇津野新田・青木新田・大杉新田財産区）	同意（全会一致）
第43号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字欠之上財産区）	同意（全会一致）
第44号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字四十日・北田中財産区）	同意（全会一致）
第45号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字泉新田財産区）	同意（全会一致）
第46号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字坂戸・六日町財産区）	同意（全会一致）
第47号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字大月財産区）	同意（全会一致）
第48号議案	南魚沼市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案番号	請願・陳情	議決結果
陳情第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択（賛成少数）

賛否一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかに示され、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

会派	南魚みらいクラブ						歩む会				未来創政会				市民クラブ				日本共産党議員団				
	目黒	吉田	塩川	清塚	小澤	黒滝	関	勝又	鈴木	塩谷	牧野	阿部	大平	永井	桑原	中沢	梅沢	田中	佐藤	寺口	中沢	岡村	
氏名	哲也	光利	裕紀	武敏	実	松男	常幸	貞夫	一	寿雄	晶	久夫	剛	拓三	圭美	一博	道男	中	藤	友彦	道夫	雅夫	
議案	也	利	紀	敏	実	男	幸	夫	一	雄	晶	夫	剛	三	美	博	男	子	剛	彦	夫	夫	
第7号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第8号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第9号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第10号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第12号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第14号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第22号議案	○	○	○	○	※	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×
第23号議案	○	○	○	○	※	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	

令和2年3月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第2号議案	令和元年度南魚沼市一般会計補正予算（第9号）	可決（全会一致）
第3号議案	令和元年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第4号議案	令和元年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第5号議案	令和元年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第6号議案	令和元年度南魚沼市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第7号議案	令和2年度南魚沼市一般会計予算	可決（賛成多数）
第8号議案	令和2年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第9号議案	令和2年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
第10号議案	令和2年度南魚沼市介護保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第11号議案	令和2年度南魚沼市城内診療所特別会計予算	可決（全会一致）
第12号議案	令和2年度南魚沼市水道事業会計予算	可決（賛成多数）
第13号議案	令和2年度南魚沼市病院事業会計予算	可決（全会一致）
第14号議案	令和2年度南魚沼市下水道事業会計予算	可決（賛成多数）
第15号議案	南魚沼市中越大震災地域復興支援基金条例の制定について	可決（全会一致）
第16号議案	南魚沼市行政区条例の制定について	可決（全会一致）
第17号議案	南魚沼市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第18号議案	南魚沼市印鑑条例の一部改正について	可決（全会一致）
第19号議案	南魚沼市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第20号議案	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決（全会一致）
第21号議案	南魚沼市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第22号議案	南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第23号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第24号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第25号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第26号議案	南魚沼市行政財産の目的外使用条例及び南魚沼市公有林野等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第27号議案	南魚沼市公民館条例の一部改正について	可決（全会一致）
第28号議案	南魚沼市市営住宅条例の一部改正について	可決（全会一致）
第29号議案	南魚沼市市有住宅管理条例の一部改正について	可決（全会一致）
第31号議案	南魚沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第32号議案	市道の路線変更について	可決（全会一致）
第33号議案	権利の放棄について	可決（全会一致）
第34号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字四十日財産区）	同意（全会一致）
第35号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字北田中財産区）	同意（全会一致）
第36号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字野田財産区）	同意（全会一致）
第37号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字奥財産区）	同意（全会一致）
第38号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字五日町財産区）	同意（全会一致）
第39号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字寺尾財産区）	同意（全会一致）
第40号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字大杉新田財産区）	同意（全会一致）



一般質問とは・・・

議員が市の行政全般について、
執行機関に対して所見を求め、
疑義を問いただすもの。

質問順位

1. 岡村 雅夫
2. 佐藤 剛
3. 田中せつ子
4. 中沢 一博
5. 梅沢 道男
6. 阿部 久夫
7. 目黒 哲也
8. 永井 拓三
9. 清塚 武敏
10. 大平 剛
11. 勝又 貞夫
12. 塩川 裕紀
13. 寺口 友彦
14. 吉田 光利
15. 中沢 道夫
16. 桑原 圭美
17. 牧野 晶

各議員の氏名の下QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。

Q & Aは一部のみを掲載しています。

一

般

質

問

A 市長
地を検討する。ごみ処理行政の基本は3Rで、減量化・再資源化に取組み、市民に受け入れら

白紙に戻し改めて他の適地を検討する。ごみ処理行政の基本は3Rで、減量化・再資源化に取組み、市民に受け入れら

Q 質問
し、適地を検討」と表明した。配布文書には「同意を得る段階には、残念ながら至っていない」「大学にご迷惑をおかけする結論は出せない」「最適地であるという認識は変わらない、いったん白紙に」と、「復活もありき」の文章だ。

答 市民全体で意識を高めていく

新ごみ用地「白紙」で
み政策の再考を



日本共産党議員団

岡村 雅夫

A 市長
思いは同感だ。森林の有効活用はテーマだ。基本的な考え方は同じで後は手段だ。庁内で計画を、発展させる形で進めている。地籍調査については認識

Q 質問
代、国は山に投資を始める。循環型社会構築のバイオマスタウン構想は山が軸だ。山の整備・活用には地籍調査が必要で「今やらなければ将来はもっと難しくなる」と関心が深い。山の地籍調査を進めるべきだ。

答 地籍調査は認識している

バイオマスタウン構想で
山の地籍調査を

れるよう最大限の努力をする。反省は感じるが、一度やった轍は二度と踏まない。





市民クラブ

佐藤 剛



貧困による学力格差を作ってはならない

答 丁寧な相談、支援を更に考える

Q 質問 貧困の連鎖が言われる中、その対策として、公立高校無償化や高等教育の修学支援新制度など、様々な経済的支援はなされるが、子どもの貧困は特に義務教育段階でのヤングケアラーの例にみられるように、家庭環境等での学力格差が心配だ。貧困による学力格差はあるか。

A 市長 市では貧困での学力格差の調査は行っていないが、生活困窮による学力格差はあると捉えている。

貧困に限らず家庭内の暴力等難しい家庭環境や安心して勉強できない状況もあり、結果、学力が下がることがあると推察される。

Q 質問

貧困と学力の影響調査は、東京都などで行っているが、想像以上に格差は大きい。義務教育の学力格差は、高等教育や社会に出るまで影響し、次の世代に繰り返し、貧困の連鎖だ。

都市部と地方で教育環境に大きな差があるが、更にその地方で生活困難を理由に学力の格差を作ってはならない。生活困難層へのきめ細かい学習支援で、貧困の連鎖を義務教育の段階で止める必要がある。

A 市長 正に貧困の連鎖がある。

そのために各学校の教員やスクールソーシャルワーカー等で個別に丁寧な相談や支援を進めている。教育格差を補う必要性は強く感じているので、今後、どのような支援ができるか研究を進めたいと考えている。



市民クラブ

田中せつ子



総合的な少子化対策の拡充を

答 妊娠から出産までの支援に力を入れる

Q 質問 結婚の希望を叶える支援の拡充は。

A 市長 新たな拡充はない。他団体や近隣市町村との連携を考えた。

Q 質問 特定不妊治療支援事業の拡大は。

A 市長 市の補助事業は所得制限がなく、今まで通りである。

Q 質問 新規産後ケア事業の内容と周知方法は。

A 市長 医療機関への宿泊とデイサービスの委託事業である。子育てブック配布で広報する。

Q 質問 男性職員の育休取得状況と推進強化は。

A 市長 近年は1〜2人が5日未満から15日以上取得している。

る。率先して取得するよう推進する。

地域医療をどう守るか

答 医療のまちづくり検討委員会で協議する

Q 質問 魚沼基幹病院の4月から病床数や初診料の変更は。

A 市長 紹介状なしの初診等で料金改定があり、内容は全戸配布になる。

Q 質問 魚沼基幹病院の職員用駐車場貸与の現状と今後は。

A 市長 368台分を無償提供している。覚書に基づいて継続する。

Q 質問 市民バスの利便性向上対策は。

A 市長 乗り継ぎの利便性向上を計画中である。



未来創政会

中沢 一博



異常少雪と新型コロナウイルスの緊急支援策を

答 可能な限り対策をとる

Q 質問 ①景気の下振れに対する当市の対策は。

②「雇用調整助成金」「衛生環境激変対策特別貸付制度」など中小企業の資金繰り支援と国の要件緩和を。また個人向け無利子・無担保の少額貸付融資の推進を。③スポーツ誘致に伴う、施設使用料の減免や教育合宿等の補助金制度の新設を。④誘客宣伝に伴う交通費の補助制度の創設を。また公共機関等への働きかけを。

A 市長 ①市だけでは難しい。当市としては何ができるか協議していく。

②国が日々新たな対策を講じようとしている。冷静に見守りたい。出来る限りの事を検討する。③市の条例にもあるように、公益

と認められた時は減免・免除ができる。どこまでやれるか研究してみたい。

④出来る限り検討する。

「企業版ふるさと納税」の創設を

答 始める方向で進める

Q 質問 税収が少なくなっている。当市として「企業版ふるさと納税」は法人税から9割が引かれ、実質1割の負担で企業として自治体に寄附を行い、税負担が軽減され、社会貢献が出来る制度である。創設の考えは。

A 市長 企業版ふるさと納税の有効活用に向けて、地域再生計画を作成し、国に認定審査を行ったところである。庁内の仕組みを整備するなど準備し、応援していただける企業の発掘、拡大に努める。



市民クラブ

梅沢 道男



GIGAスクール構想の認識と計画は

答 構想は歓迎するが経費負担は検討中

Q 質問 国は、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない学びや創造性を育み、特別な支援が必要な子ども達の可能性も大きく広げる教育ITC環境の実現に向け「GIGAスクール構想」を進めるとしているが、このGIGAスクール構想に対する認識と今後の推進計画について伺う。

A 教育長 令和5年度までに児童、生徒一人に一台のパソコン等を配備することとしたGIGAスクール構想は、個別最適化学習にふさわしい環境を整備するもので、歓迎するところである。

しかし、必要な経費と市の将来負担を考えると、かなりの額が必要なため、市で負担できるのかを、財政当局と検討している最中である。

小学校への教科担任制導入の考えは

答 是非進めたいので県教委に要請していく

Q 質問 小学校における教科担任導入に対する考えを伺う。

A 教育長 中央教育審議会でも小学校高学年の教科担任制について、導入方針が示された。これから始まる新学習指導要領のプログラミング教育や英語の教科化などもあるため、現場としても是非進めてほしいと思っている。

また、専門的な指導の実施や、色々な教科を担当する教員にとっても、教科担任制の導入は多忙化解消も含めて有効であると思われる。

しかし、これを進めるためには、教員数の増が必要だが、教員の配置は県が決めるので、市としては、県教育委員会に教科担任制が進むように要請をしていきたい。



歩む会

阿部 久夫



農業用施設の整備促進は

国、県に整備促進の必要性を伝えていく

農業用水は耕作面積によ

って、水量が決められてい

るが、土地改良事業が終わって45

年以上経ち、農業用施設が老朽化



南魚みらいクラブ

目黒 哲也



外国人観光誘客について

多様なコト消費の需要に取り

組む

外国人の誘客策は。雪の魅力と食文化を発信

している。越後湯沢駅ではなく、新

たになぜ浦佐駅に観光案内

所を。越後湯沢駅は南、浦佐駅

六日町駅前商店街にWi

Fi設置は必要ではない

か。駅前商店街、兼続公通り、

牧之通りに設置できるか商

工を含めて検討していく。

ふるさと納税について

市内の景気循環につなげたく

るさと納税の業務委託

を直営化できないか。寄附受領書や各種書類の



未来創政会

永井 拓三



スノースポーツツーリズムの今後は

答 政府や海外から選ばれよう取り組む

Q 質問 政府が投資を考える地域に選ばれるため、どのように進めていくか。

A 市長 要件が大変厳しく、選定されるのは難しいが、地域のスキー場や観光関係者と連携していく。

Q 質問 JR越後湯沢駅からの2次交通についてはどのように考えているか。

A 市長 効果検証のため冬に初めて越後湯沢駅からシャトルバスを運行したが、少雪の影響で利用者はなかった。しかし、必ずやるべきことだと考えている。

Q 質問 国際的な大会等のイベント誘致はどのように考えているか。

A 市長 なかなか難しい。ジュニアの育成や語学などから強化していかないと、国際的な大会が開催できる幅を持った地域にはなり得ないと考えている。

Q 質問 地域のマーケティングとプロモーションをどのように進めるか。

A 市長 海外の例と比べると多くの課題があり、マーケティングやプロモーションといってもなかなか前に出ないジレンマの時期だと考えている。

Q 質問 山岳スキーについて南魚沼市独自のルールの必要性を検討しているか。

A 市長 検討の段階に来ているのではないかと思う。



南魚みらいクラブ

清塚 武敏



農業後継者の高齢化、担い手不足は

答 若い世代が農業を選べる環境整備に取り組む

Q 質問 市内でも、狭小な圃場や水環境が悪い所がある。圃場整備は有効な手段と考える。また、農業従事者や、法人組織も高齢化が進んでいる現状は、多くの地域で喫緊の課題と考える。

地域の中心となる経営体、担い手不足の実態をどう捉え、支援していくのか。

A 市長 農業者の60歳以上が80%を占めている。7ha以上の経営体が、将来150になることを目標としている。若い世代が農業を選び、頑張ってもらえるような環境づくり、圃場整備も含め、国・県の補助事業を最大限活用して、経営面積を増やせるよう取り組んでいく。

Q 質問 未整理田を抱える地域では、新規に圃場整備を進める上で、園芸2割導入の課題は難しい。市はどう考えるか。

A 市長 当市の園芸導入は、中山間傾斜地や積雪地を鑑みると、極めて高いハードルだ。当市は、魚沼産コシヒカリの適地適作地であり地域の実情を、近隣の市と、県・国に働きかけを行っていく。



整備が終わった圃場で、田植え前の農作業



未来創政会

大平 剛



避難所の現状とバリアフリー化は

答 十分ではないので研究したい

Q 質問 福祉避難所の現状と避難施設のバリアフリー化について伺う。

A 市長 マニュアルに基づき平時の取り組みや災害時に迅速に取り組めるように進めているが、まだ十分な状況ではない。運営上の課題等を整理し、福祉避難所の追加指定に繋げたい。

バリアフリー化については、入り口等にスロープがある施設は66%程度、多目的トイレは3割位の設置率となっているため、避難行動要支援者の方が利用される場合には不便をかけるしまう場合が考えられる。

スロープなどの動線を確認することなどにより、避難所を活用する方法も研究したい。

除雪体制とオペレーターの確保対策は

答 企業体委託だが、確保対策は無い

Q 質問 現状の除雪体制とオペレーターの確保対策について伺う。

A 市長 市道の除雪は4つの除雪企業体に業務を委託し、オペレーター等262人体制で行っているが、高齢化も進んでおり、除雪体制の継続は大きな課題である。

しかし、具体的なオペレーター確保対策は行っていない。

Q 質問 オペレーターの確保には収入の安定が必要だが、安定策があったら伺う。

A 市長 今回の少雪は空前であり、色々なことを想定して考えなければならぬが、ここでどうするかという事はちょっと答えにくい。



歩む会

勝又 貞夫



学力向上の努力をせよ

答 向上にむけ教師集団で努力する

Q 質問 教育関係者の多大なる努力にもかかわらず、この地域の児童・生徒の学力が、全国や県の平均値に及ばないのはなぜか。次期教育基本計画で、学力向上にむけて、3ヶ年計画を立てて、具体的な数値目標を明記して取り組む考えはないか。

A 教育長 この地域は地元出身の教員が少なく、若い教員が3年周期で他地域から赴任するという、教員確保困難地域であり、指導経験豊富な教員が少なく、十分な学校運営や学習指導が行えない状況にある。教育基本計画はあくまで基本計画なので、数値目標を明記するようなものではない。

Q 質問 学力と知能は深い関係があると言われていたが、知能においても、市内の児童・生徒

が全国や県と比較して、その平均を下回っているという事実はあるか。

A 教育長 教育委員会としては調査していない。教育者としての現場経験からして、南魚沼市の児童・生徒が、他地域と比べて知能が劣っているという事実はないと思う。

Q 質問 学力で全国一位の秋田県では、何も特別な事をやっているわけではなく、当たり前のことを当たり前に行ってきた結果が今日の姿であるとのこと。我が南魚沼市の学力がいつも平均以下ということは、当たり前前のことを当たり前前に行ってこなかったということなのか。

A 教育長 学校現場において、当たり前前のことを当たり前前に指導できる教員を育てていかななくてはならない。その教師集団を共に作っていくことが大事と思う。



南魚みらいクラブ

塩川 裕紀



修学旅行延期に伴う経済的負担軽減を

答 善処していく

Q 質問 新型コロナウイルス感染症対策として、塩沢、八海、大和中学校では修学旅行の延期を決定した。それに伴い、交通機関等のキャンセル料が発生することである。また、変更後の季節的な交通費等の高騰により、生徒たちの自由時間の行動制限について、保護者会で説明があったと聞く。

修学旅行延期に伴う個人負担の軽減及び当初の予定通りの行動日程を確保するための援助ができるか伺う。

A 教育長 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、安倍総理の要請により南魚沼市では3月3日から全ての学校を休校する措置をとっている。

3校の修学旅行は3月中に実施



予定であったが、現時点で9月から10月ごろに実施すべく計画している。キャンセル料はおおむね4,000円程度になると聞いている。保護者にとって延期に伴うキャンセル料は、思いがけない負担になるのは間違いない。

まず、就学援助を受けている世帯に対してのキャンセル料の支給を検討している。その他、一般世帯の負担軽減策は今後、政府の対応を見極めた中で判断していく。

A 市長 極めて異例なケースであるので、全額支給か一部負担なのも含めて、市としても慎重に検討していく。



市民クラブ

寺口 友彦



寄附講座で医師が呼べるのか

答 医師不足解消のために必要なことだ

Q 質問 寄附講座開設で地域医療に情熱を持つ医師招へいができるのか。新潟大学中心の魚沼基幹病院からの医師派遣に支障が出るのではないか。市民病院群医師確保の待遇を良くしたほうがよいのではないか。

市民の安心安全を考えれば、医師不足は大きな問題だ。年度当初からは無理だが、途中からでも、医師確保のために、自治医大に寄附講座を開設する。財源を確保してからでないと、講座開設は実現できない。この講座が、新潟大学からの医師派遣についての、マイナスの要因にならないか、その点は確認してやっている。

市立病院群の一番の問題は、常勤医の不足で、自治医大だけでなく様々なところにもお願いしてい

空き校舎を人の集まる場所につなげないか

答 地元の声を聞いてから決める

Q 質問 南魚沼版CCRCは住民とのつながりという視点が弱かった。空き校舎を高齢者、障がい者、子ども、住民、市外の人交流できる場所にしたらどうか。

A 市長 年齢や障がいの有無に関係なく、交流できる場は重要である。空き校舎については、庁内の意見を聞き取り、地元の見をよく聞いて活用方法を決める。校舎の転用には相当な改修費が必要となることも想定できる。学校の閉校は地域のよりどころが消えることにつながる。改修はさておき、村の中心にある空き校舎とCCRC構想とが私の頭の中ではまだつながっていない。



南魚みらいクラブ

吉田

光利



遊休地の活用を積極的に進めるか

答 積極的にやって行きたい

Q 遊休地の市民への売却、または賃貸での財産活用はどのような取り組みか。

A 地元の思いとも調整し、隣接地権者に購入を働きかけるなどして、基本的には賃貸ではなく売却を考え、公募により高額なところと契約を進めている。

Q 第二次総合計画の中で見える化を図り、その管理を検討する価値があると思うかどうか。

A 立地条件などから目標設定は難しいが、公共施設等総合管理計画の中で、遊休土地の15%削減という目標を掲げて取り組んでいる。

Q 民間の不動産業者と連携する方法もあると思うか。

A 方向性はその通りである。今後、やり方を研究していく。

人口減に備えた消防体制は

答 再編統合による団員確保・強化を図る

Q 消防署より遠方の地域の消防体制には、特別な配備が必要ではないか。

A 遠隔地として特別な配備はしていないが、今後、地域の実情に合わせて適切に対応していく。

Q 消防の予防体制についてどうか。

A 一人一人の心がけを高めることが大事で、毎年のように防火訪問を実施している。高齢者世帯には、女性消防隊による、思いやりある対応に配慮している。



日本共産党議員団

中沢

道夫



異常気象への認識は

答 大変な事態だと受け止めている

Q この冬の異常少雪はこれまでに経験したことのないものであり、まさに災害である。今回の異常少雪に対する市長の認識は。

A 緊迫した気持ちで受け止めている。大変な影響を及ぼすと考える。

Q 市内業者の実態や商売への影響を市としてはどのように捉えているか伺う。

A 調査すらはばかられる現状だ。続けるが、冷静に把握するには時間がかかる。

Q 異常少雪に対する、追加の対策は考えているか

A 国を挙げて新型コロナウイルス対策を打ち出しているので、国との兼ね合いで考えて

いく。

Q 南魚沼市として「気候変動非常事態宣言」を行う考えはないか。

A 宣言するだけではないのか。市として具体的に削減に取り組んでいる。全体の意識改革が必要だと思う。

国保の短期証・資格証の発行をやめては

答 平等の観点から出来ない

Q 国保の資格証は、患者が医療を受ける権利(受療権)を奪い、滞納者を懲罰するものである。また受診抑制に繋がり、重病化を招くのではないか。

A 保険料を払わずに医療を受けることになれば、保険制度の崩壊に繋がる。ルールに基づいて発行している。



未来創政会

桑原

圭美



市長の市政運営について

【答】 まだまだ、道半ばである

【質問】 企業誘致による雇用の提供など、若者が帰ってこられる基盤づくりはできたか。

【市長】 トップセールスマンとして、産業振興に取り組みたいという強い思いで活動した。企業誘致は道半ばである。

【質問】 産業振興と財源確保による経済活性化と市民サービスの向上はできたか。

【市長】 ふるさと納税を通して全国に発信できた。職員のやる気、携わる方々の意識の変化があった。

【質問】 女性が働きやすい環境整備と企業が雇用しやすいような支援ができたか。

【市長】 子育ての駅、学童保育などの充実に努めてきた。除雪オペレーターの女性登用は好事

例である。

【質問】 地域医療体制の整備や病院へのアクセス向上はできたか。

【市長】 病院の整備は進んできた。医師不足解消は最大の課題である。今後に関しては医療政策顧問の設置による検討の場を作った。

【質問】 大学の学部や高校専門コースの誘致や部活動の支援はできたか。

【市長】 学部、高校専門コースの誘致は進んでいない。部活動へは全国レベルの活躍への支援も行っている。

【質問】 実質公債費比率県内ワーストワンから脱却するという目標はクリアできたか。

【市長】 目標を達成していないが、債務残高の削減は計画通り進めている。住民サービスの低下が起きないようにやっているが、ふるさと納税を財源としている状態である。



歩む会

牧野

晶



不妊治療の年齢拡充を

【答】 市独自で拡大することは現状では難しい

【質問】 晩婚化や、仕事の都合で妊活の高齢化の実情があるが、現在の43歳までの不妊治療助成の年齢拡充を。

【市長】 国のこれまでの統計等であるが、市民で悩んでいる方がいるのであれば実情を聞くなりして判断する事も検討したい。



県原発事故検証委員会について

【答】 各市町村の担当者会議で行われている

【質問】 過去2回同様の質問をしたが、原発事故が起きた場合、道路除雪、市民のガソリン、屋根融雪の灯油など、雪国ならではの懸案は原発検証委員会では対策を考えているのか。

【市長】 市の懸案は検証委員会ではなく、県の実務者会議で伝えている。しかし、指摘については、まだ、議論されていない。必要に応じ、県の原子力安全対策課等との意見交換をしている。

【総務課長】 降雪期に事故が起ると、こちらは除雪やスキー場の観光客の関係があり、当市のことではないので、受け入れどころではないと、いつも問題提起をしている。こちらの実情をわかった上で計画を進めていただきたいと訴えている。

総務文教委員会 管内調査

○期日 令和2年1月22日

◎調査内容

①学童保育の現状と課題について

学童保育の利用者数は増加傾向にあり、施設の新設もあるが、待機児童は無くならない状況です。今後も利用者増が見込まれ、待機児童の解消が課題です。障がい者などの支援を要する児童も増加傾向にあり、専門知識を有する職員が、今後ますます必要とされる状況です。学校と連携した教育相談体制などを利用しながら支援員の資質向上に努めていきます。

②中学生海外派遣事業の成果と今後について

派遣先を検討した結果、今年度は、世界の政治や経済に大きな影響のある、アメリカ合衆国のワシントンDCとニューヨーク市を予定することになりました。多様な人種で構成される国家の成り立ちや、文化・人権などを学ぶには適切な派遣先と考えられます。ニューヨークでは、新潟県人会の会員宅の訪問や、留学生との交流夕食会を予定しています。

③美術品の収蔵状況と管理について

展示品以外は収蔵庫に保管し、温度・湿度の管理と記録を行なっていますが、市民会館・市庁舎・学校などの公共機関に貸し出しているものも多く、必ずしも管理は一定ではないとのこととです。今後は、温度や湿度の管理や所在の確認が課題であるとの発言がありました。

産業建設委員会 管内調査

○期日 令和2年1月23日

◎調査内容

①観光集客に関わるこれまでの取り組みと今後について

NHK大河ドラマ「天地人」以降、(一)雪国の特徴的な文化、歴史、風土を生かした四季観光の推進、(二)広域連携、事業者との連携による広域観光の推進、送客力強化の推進、(三)SNSなどの新たなメディアを活用した情報提供の推進を主な目的として3つの事業に取り組んできました。

これからは、イベント依存の集客体制からの脱却が求められます。SNSやデジタルプロモーションの強化を進めます。

②市民バスの現状と課題について

市民バスは平成27年4月から見直した形での運行を行い、同年10月から有料化した。

市民バス利用状況は、年間4万人程度で横ばいでしたが、今年度は利用者が増えました。フリー降車の実施が一因と考えています。市民バスの収支状況は、運賃収入以外は国からの補助金と市の負担で、市の単独費は、1,468万円です。

今後の利用促進の取り組みでは、バスの乗り方を理解してもらいます。また、公共交通間の乗り継ぎを考慮した時刻設定などを検討していきます。

社会厚生委員会 管内調査

○期日 令和2年1月24日

◎調査内容

①外国人幼児への支援及び保育無償化後の現状について(含 現地調査)

浦佐認定こども園は、園児は200名以上で、その中で外国人幼児は、多いときは50名以上、少ないときは20名と大きな変動があります。これは国際大学が二期制のためであります。そのため市では、職員1名分の人件費相当分を市単独費で補助し、支援を行っています。

昨年10月から実施された保育無償化については、スムーズに移行でき、順調に推移しています。

②今後の医療体制について

全国的にみて、新潟県、魚沼地域は、医師数が最も少ない地域であります。その実態の中で、今後、市民病院 大和病院がどういった医療サービスをしていくかというのは、非常に大きな課題であります。また市民病院では、機能強化型訪問看護を強化し、福祉部門、保健所も一体となって、地域包括ケアシステムの構築を進めて参ります。

そこで医師の指示のもとで文書作成や事務作業を補助する専門職である医療クラークを採用し、医師の負担を減らして、診察や治療に専念できる環境をつくり、加えて今後、特定行為に関する看護師の研修制度を導入し、さらなる在宅医療等の推進、チーム医療の促進、医師の負担軽減を目指していきます。

6月定例会 予告

次の定例会は6月1日～12日の予定です。

6月の議会カレンダー(予定)

この予定は変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1日	月	本会議	7日	日	休会
2日	火	総務文教委員会	8日	月	本会議 (一般質問)
3日	水	産業建設委員会	9日	火	本会議 (一般質問)
4日	木	社会厚生委員会	10日	水	本会議 (一般質問)
5日	金	休会	11日	木	予備日
6日	土	休会	12日	金	本会議

傍聴のご案内

本会議は、9時30分～市役所本庁舎3階議場で行います。どなたでも傍聴できます(ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります)が、状況によって傍聴をご遠慮いただくこともあります。

詳しくは、議会事務局(☎773-6650)までお問い合わせください。



議会だより5月1日号はいかがでしたでしょうか。

わかりやすく、読みやすい議会だよりを目指しています。

ぜひ、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

・・・ご感想・ご意見は、「〒949-6696 六日町180-1 南魚沼市議会事務局宛」まで

今月号から議会だよりのレイアウトが
変わりました!

ちよっと

編集後記

令和2年の始まりは異常少雪。私は70年生きてきましたが、これほどまでに雪のない冬は今まで経験したことがありません。市民の皆さんも同じだと思えます。スキー観光をはじめとする地域経済は大打撃を受けました。

それに追い打ちをかけるような新型コロナウイルス。その感染拡大により、WHOは世界的な大流行を表明し、日本だけでなく世界中が混沌とした状況に陥っています。ただただ終息することを願うばかりです。

こういった状況の中、市の予算を決める3月定例会は行われました。

太陽の昇らない朝はありません。1日も早く朝陽が輝くような社会に戻ることを祈っております。

編集委員 阿部 久夫

議会広報編集特別委員

- 委員長 大平 剛
- 副委員長 梅沢 道男
- 委員 目黒 哲也
- 委員 吉田 光利
- 委員 中沢 道夫
- 委員 勝又 貞夫
- 委員 阿部 久夫